

第2節 環境学習の推進

1 県環境学習推進基本方針の策定

効率性や利便性の追求の結果としての温室効果ガスや廃棄物の増加、さらには身近な生きものの減少といった環境問題に適切に対応していくためには、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活スタイルを見直し、環境への負荷の少ない循環を基調とする社会の実現、人と自然が共生する環境にやさしい社会の実現を目指し、県民・事業者・行政がそれぞれの立場と役割において、自主的・積極的な取組を進めるとともに県民一人ひとりが家庭で、学校で、地域で、職場で自ら進んで環境問題に取り組むことが必要になってきています。このようなことから、環境問題の本質や取組の方法を自ら考え、解決する能力を身につけ、自ら進んで環境問題に取り組む人材を育成するための環境学習が重要になってきています。

これまでは平成2年6月に策定した「県環境学習推進基本方針」に基づき推進してきましたが、環境学習を巡る情勢が大きく変化してきていることから、「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」（平成15年7月制定）に基づき定められた「環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的な方針」（平成16年9月に閣議決定）を勘案して、本県の自然的社会的条件に応じた新たな「鹿児島県環境学習推進基本方針」を平成17年3月に策定しました。

県においては、今後、環境保全の意欲の増進や環境学習の推進については、この基本方針に沿って総合的かつ体系的に取り組むこととしています。

また、県教育委員会では、環境教育に関する研究校を指定し、実践的な取組を進めるとともに、県総合教育センターにおける研修講座「環境教育」の開催や、文部科学省主催の「環境学習フェア」、「環境教育担当教員講習会」、「環境リーダー研修会」への教師派遣等、指導者の育成に努めています。各学校においても「総合的な学習の時間」等を活用して、すべての小・中学校で、地域の特色を生かした体験的な環境学習に取り組んだり、各教科等との関連を図った学習を推進するなど、全教育活動の中で環境教育を行っています。

2 環境学習ネットワークの構築

かごしま県民交流センターの「生命と環境の学習館^{いのち}」と他の環境関連施設とのネットワーク化を進め、同施設に県内の環境の状況や環境保全活動等に関する情報を県民に提供するコーナーの活用を推進しました。

また、子どもから大人まで、鹿児島県の身近な環境から地球環境の問題まで幅広く調べることができる環境学習ポータルサイト「かごしまe c oーネット」を運営しています。

3 こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブの会員を対象として、自然観察会やこどもエコクラブ間の意見交換会等を実施し、地域における自主的な環境学習や環境保全に向けた取組を支援しました。

(1) こどもエコクラブの概要

「こどもエコクラブ」は、次代を担う子供たちが、地域において自主的に環境学習や実践活動を行うことを目的に、幼児から高校生で結成されたクラブです。

県では、かごしま県民交流センター6階「生命と環境の学習館^{いのち}」内に事務局を置き、子供たちが地域の中で仲間と一緒に地球環境に関する学習や具体的な取組・活動が展開でき

るよう支援しています。（表５－２）

・クラブの活動内容

リサイクル活動、清掃活動、自然観察、水質調査、環境学習会など

表５－２ 登録状況

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
市 町 村 数	10	12	23	16	17	22	28	23	17	26	16	20
エコクラブ数	17	80	153	128	177	111	108	86	76	116	80	92
会 員 数	227	732	1,530	1,236	1,544	1,584	1,772	1,091	1,421	2,612	2,121	2,293

(2) 主な支援事業

① こどもエコクラブ交流会

実施日 平成20年12月6日(土)～7日(日)

場 所 県立霧島自然ふれあいセンター

参加者 65人(8クラブ)

内 容 各こどもエコクラブの紹介、活動発表、自然観察、意見交換等

② こどもエコクラブサポーター研修会

実施日 平成20年12月6日(土)

場 所 県立霧島自然ふれあいセンター

参加者 14人(8クラブ)

内 容 霧島の自然と環境問題

③ こどもエコクラブ活動事例集の作成配布

1年間の活動を紹介した報告書を5,000部作成し、市町村、関係団体などに配布

4 環境学習アドバイザーの派遣

市町村や企業、各種団体が実施する「環境学習講座」や「自然観察会」などに、環境学習アドバイザーを講師として派遣し、県民の環境保全意識の啓発と実践活動の促進を図りました。

(1) 環境学習アドバイザーの概要

環境保全、自然環境、生活環境などの分野に学識及び経験を有する県内の23名をアドバイザーとして委嘱しています。アドバイザーは、地域における概ね20名以上（観察会等は10名以上）の学習会、自然観察会等で講演や実施指導を行っています。

（表５－３，表５－４）

表５－３ 環境学習アドバイザー派遣状況の推移

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
派遣回数	26	28	34	60	48	50	54	48	55	53	50	45
参加者数	3,014	3,633	4,243	6,983	4,882	4,764	5,484	4,066	5,197	3,745	5,191	3,729

表５－４ 平成20年度の主催者別内訳

主 催 者	市町村	市町村教育委員会	学校	企業	民間団体	事業者団体	合計
派遣回数	1	1	16	8	14	6	45

5 屋久島における環境学習

屋久島環境文化財団では、世界自然遺産に登録された屋久島の自然をフィールドに、自然の大切さや自然と人とのかかわり（「環境文化」という。）を学ぶ環境学習事業を屋久島環

境文化研修センターを拠点に展開しています。これまでの受講者数は、表５－５のとおりです。

また、環境学習の充実や屋久島の特色を活かした学習プログラムの開発を図るため、関係機関による環境学習ネットワーク会議のほか、屋久島の自然環境・歴史・民俗について学習する屋久島研究講座等を開催しました。（表５－５）

(1) 環境学習自主事業

① 屋久島自然体験セミナー

県内はもとより、全国の小・中学生、高校生、大学生、一般の方々を対象に、月１回程度、概ね２泊３日の日程で、屋久島の海、山、川などをフィールドに、野外活動を中心とする自然体験型の環境学習です。

毎回、テーマや研修内容、対象者を決め、全国に募集を行っています。

また、このほか主に島内の方々を対象に１泊２日程度のセミナーも実施しています。

② ふるさとセミナー

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見したり自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を実施しています。

③ 星空観察会、自然に親しむ集い

星空や宇宙への関心を高めるため、島内各地で季節ごとの星空観察を行う星空観察会や、自然に親しむ集いを実施しています。

(2) 環境学習受入事業

小・中学校、高校、大学の教育活動の一環として、あるいは環境関係団体やエコツアー各種団体からの要請に応じて実施しています。（表５－５）

- ・ 短時間研修（少人数～80人，１～２時間）
- ・ １日研修（10人～，宿泊を伴わない）
- ・ 宿泊研修（10人～40人，１泊２日）

表５－５ 環境学習受講者数

（単位：人）

区分 \ 年度		H15	H16	H17	H18	H19	H20
自主事業	屋久島自然体験セミナー	170	141	143	112	132	115
	屋久島ふるさとセミナー	116	47	84	78	67	41
	１日研修	503	330	190	213	210	205
	特別企画研修	60	45	7	－	－	－
受入事業	短時間研修	171	474	361	188	87	153
	１日研修	255	122	87	149	87	398
	宿泊研修	1,634	1,561	1,420	1,206	1,294	1,273

6 生命と環境の学習館における環境学習

生命と環境の学習館^{いのち}は、旧県庁跡地に平成15年４月22日にオープンした「かごしま県民交流センター」の６階に生命の神秘や尊さ、地球環境の大切さを学ぶ場として整備された体験型の施設です。

また、本県における環境学習の拠点施設として、環境情報の提供、環境学習の場や機会の提供、環境保全活動リーダー等の人材育成、こどもエコクラブ鹿児島県事務局等などさまざまな機能を有しています。

展示ゾーンは、「生命と人と環境を考えるゾーン」、「テーマゾーン」、「明日を考えるゾーン」から構成され、各ゾーンは、気づき→理解→行動の3つのステップを通して、具体的な行動を実践できる人材を育成することを目指しています。

平成20年度の入館者は44,840人、各種ワークショップや研修会等への参加者は延べ3,840名となっています。（表5－6）

表5－6 ワークショップ・研修会等の実施状況

プログラム名	対象者	実施日等	参加者数 (延人数)
サマースクール	小中学生	2回（4日間）	39
ウインタースクール	小中学生	1回（2日間）	5
指導者資格取得講座 「プロジェクトワイルドリーダー養成講座」	18歳以上	2回（4日間）	32
指導者資格取得講座 「MARE指導者養成講座」	18歳以上	1回（2日間）	18
指導者資格取得講座 「プロジェクトワイルドスキルアップ講座」	18歳以上	1回（2日間）	19
指導者資格取得講座 「プロジェクトWETリーダー養成講座」	18歳以上	1回（2日間）	10
指導者資格取得講座 「ネイチャーゲーム指導者養成講座」	18歳以上	2回（4日間）	9
学生サポーター養成講座	大学生	1回（13日間）	41
(財)鹿児島県環境技術協会自主事業（15事業）		（67日間）	3,667
計		延べ100日間	3,840名

第3節 環境保全に関する普及啓発

1 環境の日及び環境月間

6月5日の「環境の日」は、事業者及び国民の間に環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、平成5年11月に公布、施行された「環境基本法」に基づき設けられました。そもそも、この「環境の日」は、1972年にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」が6月5日から始まったことを記念して我が国の提唱により設けられた「世界環境デー」を踏まえたものです。

以来、我が国では、6月5日から11日までの1週間を「環境週間」として、また、平成3年からは、6月を「環境月間」として環境保全の普及啓発に努めています。

本県においても、関係機関団体の協力のもとに、環境問題に対する関心を高め、できることから行動に移す機会にするため、各種の関連行事を表5－7のとおり実施しました。

表５－７ 環境月間関連行事

行 事 名	内 容	主 催	場 所	期 日
地球環境を守る かごしま県民運動推 進大会	講演、環境保全活動 団体等の表彰等	地球環境を守るか ごしま県民運動推 進会議	鹿児島市	平成20年6月 5日
環境教育授業	燃料電池の実験及び 大気測定車見学等	鹿児島県	曾於市 鹿屋市 菱刈町	平成20年6月 3日 6月 5日 6月 9日
霧島連山自然保護 合同パトロール開 始式	霧島屋久国立公園の 霧島地区で高山植物 盗採防止のための巡 視と空き缶清掃	鹿児島県霧島連山 自然保護協議会	霧島屋久国立公園 霧島地区内（高千 穂河原自然公園美 化管理財団前）	平成20年6月 1日
ウミガメ保護 パトロール	ウミガメ保護パトロー ル	鹿児島県内の市町 村	県内のウミガメの 上陸する海岸	平成20年 5月～8月
錦江湾クリーンアッ プ作戦・夏の部	錦江湾岸の海岸清掃 活動	錦江湾みらい総合 戦略推進協議会	鹿児島市 加治木町 錦江町	平成20年6月 6日 6月28日 6月29日
小規模事業場等排水 対策指導	肝属川上流域小規模 事業場への立入指導	鹿児島県	鹿屋市 (肝属川流域)	平成20年 6月25日 11月 5日 平成21年 2月12日

2 森林環境税の導入

森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図ることを目的に、平成17年度から森林環境税を導入しました。

この財源を活用して、手入れの遅れた森林の間伐や荒廃竹林の整備、県産材の利用拡大の取組など森林の保全を図るための施策や森林・林業に関する学習・体験活動への支援や森林環境教育の推進、森林ボランティアの育成など、森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策を県民と一体となって行っています。

3 森林のつどい

みどりは人間にとって、国土の保全、水資源のかん養、学習・レクリエーション活動の場等人々の安全で快適な生活環境を確保する上で、重要な役割を果たしています。

県では、県民の森林やみどりに対する理解を深めてもらうための事業を実施しています。

(表５－８)

表５－８ 平成20年度 「森林のつどい」 イベント

イベント名	時 期	場 所	内 容
みどりの感謝祭	平成20年4月29日	県民の森	緑の少年団活動発表、森の散策、緑の教室、苗木配布
「九州森林の日」 植 樹 祭	平成20年11月9日	県民の森	植樹活動、高性能林業機械実演、みどりの教室、森の音楽会

4 全国星空継続観察（スターウォッチングネットワーク）

全国星空継続観察は、環境省が各自治体や天文クラブ等の協力を得て、昭和63年から実施しているものであり、星空の観察という身近な方法により、大気環境の状況を調査するとともに、大気環境保全の重要性について考えていただくことを目的としています。

平成20年度は全国で夏期393団体、冬期363団体が参加しており、本県においても夏期6団